

京都府在宅保健師の会 設立20周年記念講演会

「京都府在宅保健師の会」は、平成17年10月に設立され、令和7年に設立20周年を迎えます。

これまで、会員相互の研鑽と交流を図るとともに、地域住民の健康づくりを支援するため、保健師として地域の保健活動に寄与することを目的として活動してきました。令和7年2月現在会員数は92名となっております。

設立20周年を記念して、社会学者の上野千鶴子先生をお招きしました。超高齢化社会を生き抜くための課題と心構えを考えてみませんか？

人生100年時代を生き抜くために ～女性として保健師として～

講師 上野千鶴子先生

社会学者・東京大学名誉教授

認定NPO法人

ウイメンズアクションネットワーク（WAN）理事長

2025年

6月27日 金曜日

13:30～16:00

会場 京都経済センター会議室 6-B

京都市下京区函谷鉾町 78 番地

（京都市営地下鉄四条駅北改札徒歩 1 分）



©撮影 後藤さくら

参加費 1000 円

当日書籍販売・サイン会を
予定しております。

講師紹介

上野千鶴子氏

社会学者・東京大学名誉教授

認定NPO法人 ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長

上野千鶴子基金代表理事

【ご経歴】

1948年富山県生まれ。

京都大学大学院社会学博士課程修了。

社会学博士。

平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。

1993年東京大学文学部助教授、1995年同人文社会系研究科教授。

2012年立命館大学特別招聘教授。元学術会議会員。

専門は女性学・ジェンダー研究、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。

【主な著書】

『当事者主権』（中西正司と共著、岩波新書）、『ケアの社会学』（太田出版）

『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』（法研）、

『おひとりさまの最期』（朝日新聞出版）、

『女の子はどう生きるか、教えて！上野先生』（岩波ジュニア新書）

『在宅ひとり死のススメ』（文春新書）

『フェミニズムがひらいた道』（NHK出版）

『おひとりさまの逆襲』（小島美里と共著、ビジネス社）

『史上最悪の介護保険改定!!』（樋口恵子と共編著、岩波ブックレット）

『上野千鶴子がかもって文学を社会学する』（朝日新聞出版）

『最期はひとり』（樋口恵子との共著・マガジンハウス）

『「おひとりさまの老後」が危ない!』（高口光子との共著・集英社新書）

『こんな世の中に誰がした』（光文社）

『挑戦するフェミニズム』（江原由美子との共編著、有斐閣）

『マイナーノートで』（NHK出版）等がある。

最新刊は『当事者主権 増補新版』（中西正司と共著・岩波書店）